

2025
vol.64
no. 6

写真測量とリモートセンシング

小特集 「ますます増加する小型衛星の紹介」

目 次

〈巻頭言〉 新たな地理空間情報基盤の展開に向けて	河瀬和重	217
〈カメラアイ〉 超小型光学衛星 CE-SAT-IE の概要と撮影手法	旭 友希, 東 健太	218
〈小特集〉 「ますます増加する小型衛星の紹介」		220
〈原著論文〉 RANSAC を用いた地下埋設管 3 次元モデリング手法の提案	高橋元気, 王 姫	240
〈海外とびある記〉 第46回アジアリモートセンシング会議 (ACRS2025) 参加記 ～小さな挑戦と成長～	白石彩乃	249
〈活動報告〉 令和7年度秋季学術講演会 報告	中川雅史	252
〈活動報告〉 第46回アジアリモートセンシング会議 (ACRS) 報告	長 幸平	273
〈活動報告〉 『ACRS2025 JSPRS Award・Shunji Murai Award』受賞者報告	須崎純一	277
〈活動報告〉 小特集 「3D Gaussian Splatting の活用事例」に関する勉強会 報告	李 勇鶴	279
〈活動報告〉 北海道支部活動報告・北信越支部活動報告・関西支部活動報告		281
〈文献抄録〉 Generative AI Security : Theories and Practices	中川雅史	286
〈文献抄録〉 SKYFALL-GS : SYNTHESIZING IMMERSIVE 3D URBAN SCENES FROM SATELLITE IMAGERY	熊崎理仁	287
〈2025年号 (Vol. 64) 年間総目次〉		289
〈会のうごき〉		291
〈投稿要領・執筆要領・原稿送付状〉		292

表紙説明：宇宙航空研究開発機構 (JAXA) は、先進レーダ衛星「だいち4号」(ALOS-4: Advanced Land Observing Satellite-4) を、2024年7月1日12時6分42秒（日本時間）に種子島宇宙センターからH3ロケット3号機により打ち上げた。打ち上げ後、衛星の初期機能確認運用(衛星システム及びミッション機器が所定の機能・性能を有していることの確認)を行い、現在(2025年2月時点)は搭載するLバンド合成開口レーダ「PALSAR-3」の標準プロダクトの初期校正検証を実施している。本表紙は、能登半島全域を初期校正検証期間中の2024年10月14日に取得したデータである（観測モード：高分解能 3 m モード・観測幅200 km・2偏波 (HH, HV), R/G/B に HH 偏波/HV 偏波/HH 偏波を割り当ててカラー合成）。ALOS-4 は ALOS-2 搭載の PALSAR-2 の高分解能 (3 m) を維持しつつ、観測幅を200kmへ向上させている。

本学会のホームページを開設いたしておりますのでご覧下さい。

<https://www.jsprs.jp>

E-mail : office@jsprs.jp

編集委員

委員長 織田 和夫	(アジア航測(株))
委員 石塚直樹	(農業・食品産業技術総合研究機構)
上村治睦	(リモート・センシング技術センター)
木寺幸司	(南海測量設計(株))
窪田諭	(関西大学)
堺浩一	((株)バスコ)
白井直樹	(日本測量協会)
高橋元気	(国際航業(株))
高橋陪夫	(宇宙航空研究開発機構)
近津博文	(東京電機大学)
沼尻治樹	(日本測量協会)
野口真弓	(国土地理院)
藤野千和子	(日本写真測量学会)
布施孝志	(東京大学)
政春尋志	(元 東洋大学)
吉野邦彦	(東京大学)
李勇鶴	(日本大学)
力丸厚	(長岡技術科学大学)